

5つの力を
育む授業
中学校編

高島中学校

ICTを活用した授業

(情報通信技術)

活用力

表現力

社会性

この日行われたのは「日本限定の新しいアイスクリームのアイデアを考える」というテーマの英語授業。一人一人が持つChromebookというパソコンを使い、班ごとにイラストや言葉を入れたスライドを作成。最後には、パソコンで作った資料を

使ってみんなの前で英語で発表します。班の中で意見が合う相手とも協力し良いものにしようと取り組む「社会性」、発表資料作成に生かす「活用力」、目的に応じた英語での伝え方を工夫する「表現力」が身に付く内容です。

① 班で画面を共有しながらスライドを作成

インターネットで写真やイラストを探しスライドに貼り付け



どんなアイスにしようかな～



生徒間で同時に同じファイルを開くことができるため、相談しやすい

先生にインタビュー！



三宅佑奈先生

ビデオ通話アプリで別の教室や、遠くの学校とつながることが気軽にでき、生徒にも刺激になるようです。すぐ情報が得られるインターネットなどに頼りすぎることなく、情報を精査する力、情報を活用しながら考え、新たな解を見つけだす力を身に付けてほしいですね。

ICTを使い、一人ではなくいろいろな人の意見を聞きながら仲間と話し合うことで表現の幅が広がると思います。私たちも生徒と一緒に、今後このICTで何ができるか考えていきたいですね。



八木茉莉央先生

② 班ごとに発表

最後は班ごとにみんなの前で英語で発表！



スライドには目を引く写真や心をつかむ言葉を活用し、身振り手振りを使って伝わりやすい工夫も

知ってた？

令和3年度より／

児童生徒1人に1台のパソコン(Chromebook)の活用スタート！

小・中学校では1人1台のパソコンやネットワークを整備。教室で端末を使って物事を調べたり、授業に必要な資料や写真、動画を簡単に共有したりすることができるのが魅力です。これまでの授業にICTを加えることによって、新たな授業の形が広がっています。



教育委員会では
こんな取り組みも
しています！

／取り組み／

① ICT教育を支える教員をサポート！

今年度、新たに設置された情報教育推進室。ICTを使った教育の要となる教員を支えるため、ICTに関する研修の充実や、授業づくりをサポートするICT支援員の配置などを計画し、実施しています。

インタビュー

Q 学校ではどのようにICTが活用されていますか？

インターネットを使って調べる学習をはじめ、発表資料の作成や、遠方の人とのオンライン交流などで活用しています。また、子どもたちが活動の様子を写真や動画で記録し、自分の姿を客観的に振り返る機会も生まれています。

ICTを活用した
授業の事例を
教職員向けに
公開中！



Q ICTを活用した教育では、どんな力を育むことができますか？

主に、情報を収集して効果的に扱う「活用力」や、自分の考えを他者に伝える「表現力」を育てていきます。特に、自分が挑戦する課題の解決に向けて、必要な情報を選択する力は、将来、情報化社会を生きる上で役立つと考えています。

Q 今後の目標を教えてください。

まずは、先生方にどんどんICTを活用し慣れてもらうことが先決です。ただ、目的は「ICTというツールを使って、子どもたちの力を育むこと」なので、これまでの授業にICTをうまく融合できたらと。また、先生方の働き方改革につながるICT活用も、今後提案できたらと考えています。



岡山市教育研究研修センター
情報教育推進室
村尾剛介室長

／取り組み／

② 「※OJT若手教員育成支援プロジェクト」を実施！



若手教員の指導力向上や、育成を推進する体制の構築・充実を目指す教育研究研修センターの「OJT若手教員育成支援プロジェクト」。校長職を退職した経験豊かな「OJT支援員」が若手教員の授業を参観しアドバイスを

重ねることで、教育の基礎となる授業力の向上に結び付くことはもちろん、若手教員が自身の課題や成長を客観視できたり、教職員同士のつながりを深めたりする機会にもつながっています。

インタビュー

全5回の支援では、自己課題だった授業力を上げるための具体的なアドバイスをいただきました。授業中の子どもへの声の掛け方や、授業で使う資料を工夫することで、子どもから「授業が楽しくなった！」という声が聞かれ、支援を受

けた成果を実感しています。今、取り組んでいるのは、授業の中で子どもが目的意識をもつことができるようにすること。学習の課題を丁寧につかみ目的意識が高まることで、勉強を楽しんでいる気持ちや向上心を育てていきたいです。



浮田小学校 黒住真子先生

※OJT…ここでは校内における日常の業務を通じて、教職員として必要な知識や技能、態度などを意図的・計画的・組織的に高める取り組みのことを指します。

5つの力を
育む授業
小学校編

伊島小学校

地域のことを学び、考える総合的な学習の時間



上进心



活用力



社会性



表現力



人権尊重
の精神

「地域の人、もの、こと、地域と世界のつながりに関わる探究的な学習」の一つとして「みんなが暮らしやすい町、伊島」と題し、授業を行いました。地域のことに興味をもち、資料や現地で調べ、得た知識や情報などを「活用」。地域に住む自分以外の立場の人に思いをはせ考えることで「人権尊重の精神」も養われています。結果として、子どもたちに地域の一員であるという自覚が芽生えてきています。日常的に自分で課題を見つけ、自発的に考え学ぶ力が付く授業となっています。

総合的な学習の時間とは？

日常生活や社会の中から、子ども自身が課題を見つけ、探究的な学習を行うことを通して、自分自身の生き方を考えます。教育大綱が掲げる「育みたい5つの力」全てを総合的に育むことが期待されます。

①「暮らしやすい町とは」を考える

町には
暮らしやすくなるための
工夫がこんなに
いっぱい！



暮らしやすい工夫
見つかった人～！

点字ブロックやスロープなど、子どもたちが見つけたさまざまな設備を地図に記入。授業後にもさらに探して記入した子どもも

②「もっとこうなったらいいのに」を考える

設備だけでなく、「自分たちにできないことがないか」考えました。子どもたちからは「体が不自由な人の気持ちが想像しきれないので、体験してみたい」という意見が出ました。

今後

点字を学んだり、アイマスクを使って目が不自由な人の疑似体験を行ったりする予定です。体験したからこそより多くの発見、気づきが出てきそうです。



どんなことが
困るんだろう

先生にインタビュー！



宗川舞子先生

核家族や転勤族が増えている現在、ふるさととなる伊島学区に目を向けてほしいと思っています。そこで伊島小学校では3年生から地域に興味をもつ授業を開始。この4年生の授業では、地域について積極的に周りの人に伝えたいという意欲をもつ子も出てきました。

地域ではいろんな人が暮らし、支えあっています。自分も地域の一員であることを意識し、困っている人にどう行動できるか、考えられるようになってほしい。この授業を通して、今まで見えなかったものに気づき、自分に何ができるのかを問い続けられる人になってほしいです。

地域との交流を
深める動きも
始まっています！

学校と地域をつなげる公民館



上进心



社会性

公民館は地域の学習や活動の拠点であり、地域全体で子どもたちの成長を支えていく活動をする上で重要な施設です。市内の各中学校区に設置されている公民館は、子どもたちがさまざまな年代の人と関わることができ、学校ではできない経験を培える場として、学校の重要なパートナーとしての役割が期待されています。



中学生ボランティアが公民館の活動に積極的に参画

担当職員に聞きました！

**Q 地域とのつながりは
どのように生まれていますか。**

公民館で中学校の吹奏楽部による音楽会を開催したり、中学生が防災キャンプや用水の清掃活動などのボランティア活動をしたりする中で、地域の方々から温かい言葉をかけていただいています。このような交流を1つずつ積み重ねていくことで、地域の方と学校、子どもたちとのつながりが育まれてきています。

「参画する機会」
を創り出して
います！



御南西公民館 長崎百絵主任

**Q 学校とはどのように
連携していますか。**

中学生を地域のミドルリーダーに育成したいという思いを中学校と共有しています。学校が地域のボランティア活動に気持ちよく送り出してくれているので、活動に前向きに取り組む子どもが多いです。

**Q 子どもたちにはどのような力を
育んでほしいですか。**

大切なのは「生き抜く力」。長年培われてきた地域がもつ力が土台となり、公民館での多様な人々との出会いや学び合いを通じて、「社会性」を育んでほしいです。地域活動を通じて、他者と協力しながら、本来自分がもっている素晴らしい力をさらに伸ばしてほしいですね。

こちらも
注目！

学校で進める人権教育

学校では、教育活動全体を通じて、人権尊重の理念に基づく学習活動、人間関係づくり、教育環境づくりに取り組んでいます。

人権教育を通して「何ができるようになるか」「何を学ぶか」などを各学校で明確にし、指導の工夫を図るとともに、人権が尊重される環境づくりを進めます。これにより子どもたちに

「人権尊重の精神」が育まれ、自他の人権を守ろうとする実践行動ができるようになることを目指しています。

今後も、子どもたちが多様性を認め合い、一人一人の自分らしさを大切にできる力を身に付けることができるよう、人権教育の充実を図っていきます。



人権尊重
の精神

読者アンケート & プレゼント

特集「未来を切り拓く子どもを育てるために、今」はいかがでしたでしょうか？
特集について、以下のアンケートに回答いただいた人の中から抽選でプレゼントが当たります。

アンケート

- 1 特集号の感想を聞かせてください
- 2 特集号のどの記事に興味をもちましたか？
- 3 その他のご意見
(毎月発行の「市民のひろばおかやま」などについて)

応募方法

アンケートへの回答、住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、はがきまたは封書、ファクス、電子メールで応募してください。なお、当選者の発表は、プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

応募先は下記の「発行」の住所をご参照ください。スマートフォンからは右のQRコードを読み込んでご応募ください。



応募締切 9月30日(木) 当日消印有効



① マスコット2個セット

10人に当たる！ プレゼント

①～⑤のミコロ・ハコロ
グッズセット



③ ハンカチ

② マスキング
テープ
2個セット



④ メモ帳



⑤ トートバッグ



2021年9月1日発行 第38号

発行:岡山市広報広聴課

〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1-1

TEL086-803-1024 FAX086-803-1731

ホームページ



電子メール



<https://www.city.okayama.jp/> kouhouka@city.okayama.lg.jp

制作・編集 株式会社ビザビ

QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

編集後記

今回の取材を通じて、教育に携わる方々が心から子どもたちのことを思い、ともに考え、一生懸命に取り組まれている姿に心動かされました。そして、子どもたちが前向きに協力して、工夫を凝らして学んでいる様子は大変頼もしく、未来への希望を感じさせてくれました。記事にすることができたのはその一部ですが、変わりつつある本市の教育について少しでも市民の皆さんにお伝えできれば幸いです。